

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

果樹カメムシ類の発生状況と防除の徹底について

本年は果樹カメムシ類の発生が多く、令和2年6月5日付け注意報第1号において注意喚起を図ってきたところです。このような中、現在、県内の一部の果樹園において、果樹カメムシ類の多飛来が確認されています。

ついては、今後の園地への飛来に注意し、下記事項を参考に防除対策を徹底するよう生産者への指導をお願いします。



チャバネアオカメムシ

記

1. 発生概況

- 7月20日頃から、県内各地のミカン等の果樹園で果樹カメムシ類の飛来が確認されている。また、一部の園地では多飛来している。
- 県内に設置している予察灯およびフェロモントラップにおいて、果樹カメムシ類(主にチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ)の誘殺虫数は、平年より多く推移しており、一部地域では7月中旬に急増している(図1)。

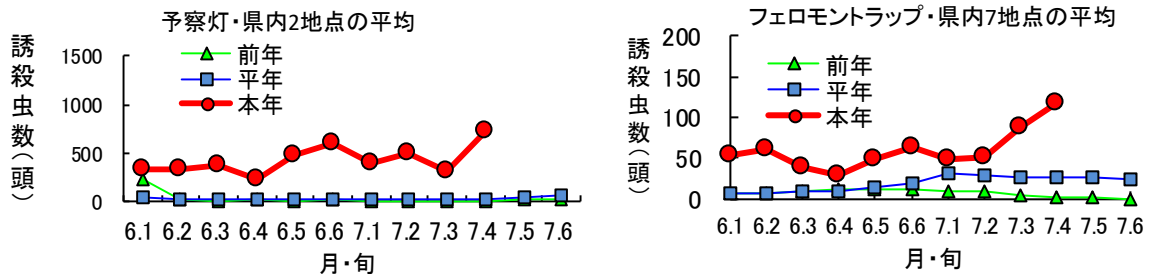


図1. 県内に設置した予察灯およびフェロモントラップにおけるカメムシ類の誘殺虫数

2. 防除対策

- 飛来状況は地域、園地、園地内の場所によって異なるため、園内外をよく確認し、飛来が確認されたら、合成ピレスロイド系薬剤又はネオニコチノイド系薬剤で直ちに防除を行う。防除薬剤は、佐賀県施肥・病害虫防除・雑草防除のてびきを参照する。
- 合成ピレスロイド系薬剤やネオニコチノイド系薬剤の残効期間は10～15日程度である。なお、ネオニコチノイド系薬剤は、30～50mm程度の降雨で防除効果が低下するため、散布後に同雨量以上の降雨があった場合は、再散布を行う。
- 今後の発生状況については、当センターが発表する各種情報及びホームページを参考にする。(農業技術防除センターHP:<http://www.pref.saga.lg.jp/kijji00373814/index.html>)

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部
〒840 2205 佐賀市川副町南里1088
TEL (0952)45 8153 FAX (0952)45-5085